様式第八号を次のように改める。

様式第十号

第　　号

精液採取に関する証明書（乙）

精液を採取した種畜	種畜証明書番号		種畜の等　級	
	名　　前			
	家畜登録機関名及び登録番号			
	種類及び品種			
	飼養者の氏名又は名称及び住所			
精液採取年月日				

上記のとおり種畜から精液を採取したことを証明する。

年　　月　　日

獣医師（家畜人工授精師）

登録番号（免許番号）　（県）第　　号

住　所

氏　名　　印

（備考）

この証明書は、精液を採取し、封を施すことなくその場で雌畜に注入し、又は体外授精を行った場合に、精液を採取した獣医師又は家畜人工授精師が当該雌畜の飼養者又はこの精液を用いて体外授精を行った獣医師若しくは家畜人工授精師に対して交付するものである。

（日本産業規格Ａ５）

備考

この証明書を作成した獣医師又は家畜人工授精師は、この証明書に記載された家畜人工授精用精液について、当該家畜人工授精用精液の生産の事業を行う者の求めに応じ、使用する者の範囲又はその使用の目的に関する制限がある場合は、本証明書における任意の場所に当該制限の内容を表示することができる。なお、当該制限の内容を概要で記載の上、当該制限を表示したウェブサイトのアドレス又は当該家畜人工授精用精液の生産の事業を行う者の電話番号等を記載することもできる。